



第39回上田八木・金融政策サーベイ(2020年12月)の結果について

～全回答者(142先)の99%が今回のMPMでの政策変更なしとの見方。3か月先の無担保コールON金利予想では、「上昇」の見方が増加し、「低下」の見方が減少した。

2020年12月16日
上田八木短資株式会社

【調査の総括】

- 全回答者(142先)の99%が今回のMPMでの政策変更なしを予想。緩和を予想する先はごくわずか(1%)であった。
- 3か月先の無担保コールON金利予想では、「上昇」の見方が増加(2%→6%)し、「低下」の見方が減少(10%→1%)した。
- 3か月先の2年国債金利の予想では、「上昇」の見方が増加(1%→6%)した。10年国債金利の予想は、前回とほぼ同じ結果となった。

【調査の概要】

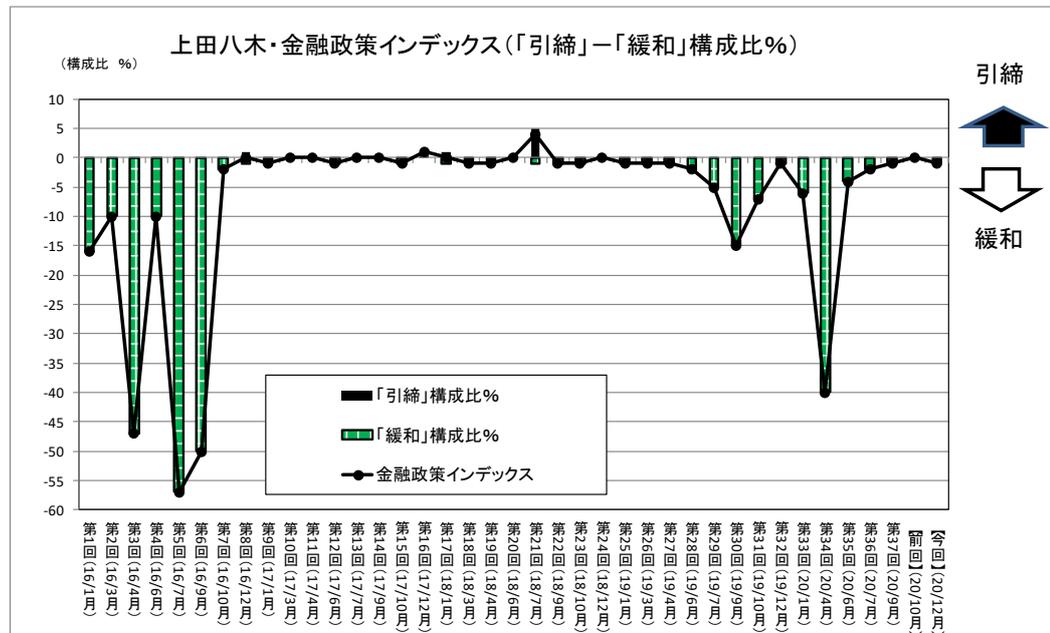
調査対象	弊社と取引のある銀行、証券会社、保険会社、事業法人などの市場取引関係者(167先)
調査内容	日本銀行の金融政策決定会合における結果予想と、3か月先の金利見通し
調査方法	2020年12月11日、14日～15日の3営業日間、電話等によるヒアリングにより実施
回答率	85.0% (回答者数142先<Q1における回答者数>)

【調査結果】

(Q1)日本銀行の次回の金融政策決定会合(12月17日～12月18日)における決定について

回答者の99%が「不変」の見方。「緩和」の見方は1%。「引締」は0%。

上田八木・金融政策インデックス(「引締」-「緩和」構成比%)は、「▲1」(前回は0)であった。



(Q2) 3か月先の「無担保コールON金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

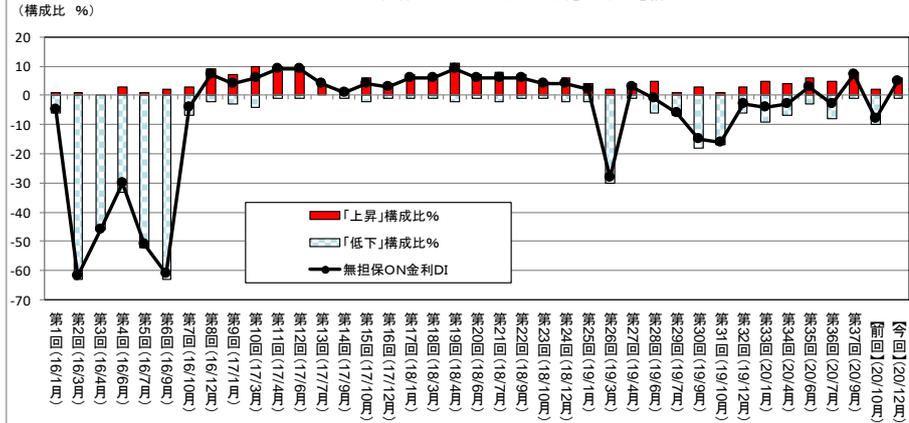
回答者全体の6%が「上昇」を予想、1%が「低下」を予想、「不変」とみている先は93%であった。

前回との比較では、「上昇」とみる先は+4%ポイント(前回2% → 今回6%)。

「低下」とみる先は▲9%ポイント(前回10% → 今回1%)。

「不変」とみる先は+5%ポイント(前回88% → 今回93%)。

3か月先の無担保コールON金利(「上昇」-「低下」構成比%)



(Q3) 3か月先の「2年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

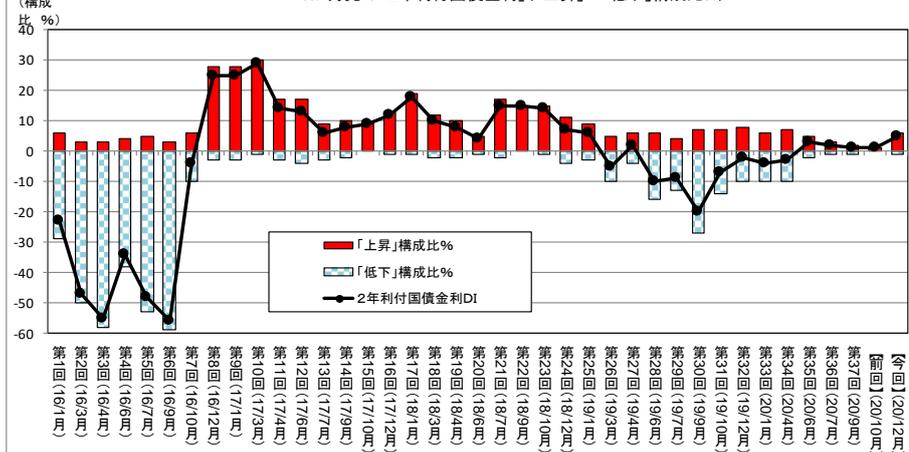
回答者全体の6%が「上昇」を予想、「低下」予想は1%、「不変」を予想した先は93%であった。

前回との比較では、「上昇」とみる先は+5%ポイント(前回1% → 今回6%)。

「低下」とみる先は+1%ポイント(前回0% → 今回1%)。

「不変」とみる先は▲6%ポイント(前回99% → 今回93%)。

3か月先の「2年利付国債金利」(「上昇」-「低下」構成比%)



(Q4) 3か月先の「10年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

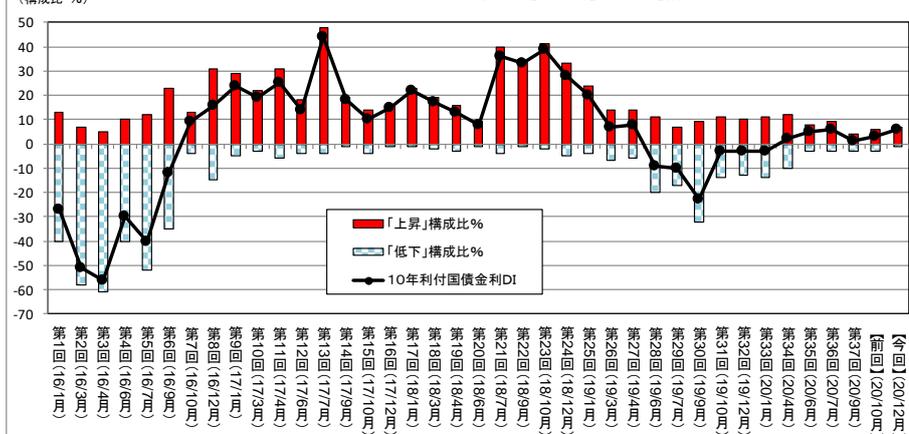
回答者全体の7%が「上昇」を予想、1%が「低下」を予想、「不変」を予想した先は92%であった。

前回との比較では、「上昇」とみる先は+1%ポイント(前回6% → 今回7%)。

「低下」とみる先は▲2%ポイント(前回3% → 今回1%)。

「不変」とみる先は+1%ポイント(前回91% → 今回92%)。

3か月先の「10年利付国債金利」(「上昇」-「低下」構成比%)



【本調査に関する照会先】 企画部 島本、嶋瀬 (電話 03-3272-0293)

